

指定管理業務に対する内部評価シート

基本事項	
評価対象業務	大船渡市総合交流ターミナル施設指定管理運営業務
指定管理者	大船渡市農業協同組合
指定管理期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで
評価年度	令和7年度
所管課 評価者	大船渡市農林水産部農林課 課長 新沼裕一
業務達成度に対する評価	
管理運営業務	業務全般については、仕様書に定める管理水準を満たしており、適切な施設管理及び利用者サービスが提供されていると認められる。 「椿の里大船渡」のPRについては、多様な広告媒体を活用した情報発信により、市内外へ広く施設や地域の魅力を発信したことは評価できる。 また、「三陸・大船渡第29回つばきまつり」においては、日頃から椿の適切な維持管理に取り組むとともに、積極的な情報発信や交流人口の拡大に努めたことは、施設の魅力向上及び誘客促進の観点から評価できる。 さらに、「第36回全国椿サミット大船渡大会」においては、屋内展示の充実を図り、視察来訪者の満足度向上につなげたことは評価できる。 利用者対応についても、障がい者や高齢者への積極的な声掛けなど、利用者の立場に立った親切で丁寧な対応に努めており、誰もが利用しやすい施設運営の実践が認められる。 一方で、指定管理期間中に欠員が生じたことにより、職員一人ひとりの業務負担が増加した状況が見受けられ、安定的かつ継続的なサービス提供を確保するため、今後は人員確保や業務体制の強化を図り、より安定した管理運営体制の構築に努められたい。
自主事業	自主事業については、創意工夫を凝らした各種イベントを実施することにより、施設の魅力向上や利用者同士の交流促進につながっており、施設の設置目的に沿った事業運営が行われていると認められる。 特に、アジサイ池イベント開催期間中にコスプレ写真撮影会を新規事業として実施した結果、6月の入館者数が前年同月比で約2割増加したことは、施設の新たな利用層の開拓及び誘客促進に

	寄与した取組として高く評価できる。 一方、本施設は市民の文化活動、交流及び余暇活動の場として重要な役割を担っていることから、今後は個人向け事業だけでなく、地元企業や地域コミュニティ等の団体を対象とした自主事業についても企画・実施し、幅広い利用者層の確保とリピーターの増加につなげることを期待する。 また、参加者数が少数にとどまった事業については、参加者ニーズや実施効果を十分に検証した上で、企画内容や周知方法の見直しを行い、より多くの市民の参加につながる効果的な事業となるよう努められたい。
総括	施設管理については、これまでの指定管理業務において蓄積された経験と知見を活かし、適切な管理運営に努めているものと認められる。 特に、第 36 回全国椿サミット大船渡大会においては、当市を訪れた全国の参加者から施設の展示内容や管理状況について高い評価を得ており、日頃の施設管理の成果が表れているものと評価できる。 一方で、開館から 30 年近くが経過し、施設設備の老朽化が進行していることから、今後も計画的な小規模修繕や保守点検を実施し、施設の機能及び安全性を維持しながら、長期的かつ適切な施設管理に努められたい。 自主事業については、開花期及び非開花期を問わず多様なイベント等を企画・実施しており、幅広い世代の利用促進及び施設の魅力向上につながる事業展開が図られていることは評価できる。 今後は、従来の発想にとらわれることなく、施設の特色や地域資源を活かした新たな事業を企画・実施し、更なる利用者の増加及び施設の活性化につながる取組が展開されることを期待する。
利用者満足度に対する評価	
総括	施設入館者へのアンケート結果において、施設管理や利用者対応をはじめとする業務全般について概ね良好な評価を得ており、適切な施設運営が行われているものと認められる。 また、非開花期においても入館料が発生することに対する意見が寄せられる中、展示内容の充実や見直しを図ることで利用者満足度の向上に努めている姿勢は評価できる。 今後は、開花期だけでなく非開花期においても継続的にアンケートを実施し、利用者ニーズや意見の把握に努めるとともに、その結果を施設運営や自主事業の企画に反映させることで、非開花期における利用者満足度の向上及び入館者数の増加につながる取組を期待する。
収支状況に対する評価	
総括	管理運営に関する支出については、花き維持管理費、事務費及び広告費等において決算額が予算額を上回ったものの、施設運営上必要な経費として執行されたものであり、収支全体としては概ね適正に執行されたものと認められる。 また、原材料価格やエネルギーコストの上昇が続く中、消耗品

	費、燃料費及び光熱水費等の抑制に努め、経費削減を図ったことは評価できる。 一方で、年度途中の職員退職により欠員が生じ、人件費が大幅な減額となっていることから、施設の安定的な管理運営及びサービス水準の維持に支障が生じないよう、必要な人員体制の確保に努められたい。 今後は、物価上昇や最低賃金の引上げ等に伴う人件費の増加が見込まれることから、業務委託の見直しや事務の効率化など、引き続き経費節減に取り組むことを期待する。 なお、人員不足の影響により結果として90万円を超える剰余金が生じていることから、今後も同様の状況が継続する場合には、その要因を十分に検証するとともに、指定管理料の在り方について検討する必要がある。
指定管理業務に対する総合評価	
施設入館者に対し、多数の椿の展示や創意工夫を凝らした自主事業の実施など、良好なサービスが提供されており、施設の管理運営が適正かつ確実に行われた成果として評価できる。 また、積極的な情報発信や利用者に寄り添った対応に努めることで、施設の魅力向上及び利用促進が図られているものと認められる。 一方で、職員の安定的な配置や自主事業の更なる充実など、改善が望まれる事項も見受けられることから、引き続き運営体制の強化とサービス向上に取り組まれたい。	B

※ 評価区分

- A：期待を上回る水準で業務が実施されており、良好なサービスが提供されている。
- B：一部で改善を要する事項等があるものの、概ね期待どおりの業務が実施されている。
- C：期待する水準以下の業務内容であり、サービスの改良が求められる。